

アジア太平洋の海上安全保障と日・米・中関係 座談会

広告



目覚ましい経済成長の波に乗り、アジア太平洋海域での急速な権益拡大を図り、海軍増強を進める中国。それに対し、日本や米国、東アジアの沿岸諸国は、同海域の安全保障を脅かすとして警戒感を強めている。米国が世界的な軍備再編で予算を見直し、逆に中国が海軍への予算を増やす中、近い将来、東アジアの海軍力のバランスはどう変化するのか、海上の安全保障は維持されるのか。日本・米国・中国の元海軍、海上自衛隊の指揮官を執った方々にお集まりいただき、東アジア海域の安全保障に対する各国の基本姿勢や将来展望を聞いた。

特別番組 「激論!! 太平洋安全保障をどう築くのか?」 ~アジア・太平洋の海上安全保障と日米中関係~ 9月30日(日)15:00~15:55 BSジャパンで全国放送します

自由な海洋活動の保障確立を



CSIS・ハンダフェロー ジャスティン・ゴールドマン氏

米海軍第15次調査隊員としてアフガニスタン、パキスタンで勤務。西アフリカ顧問。ラジャトナム大学軍事研究員としてシンガポール国防大学および海軍高等大学で指導に当たった。



中国国防大学 研究員 楊 毅氏

ヤン・イー 退役海軍少将。駐米大使館付武官を経て、2010年中国国防大学戦略研究所長。現在、研究員。国家安全保障・軍事戦略・国際政策の専門家。中国で最も影響力がある戦略思想家の一人。



海上自衛隊 退役海将 香田 洋二氏

こうた・ようじ 護衛艦さむよき艦長、護衛艦隊司令部幕僚長、第30代護衛艦隊司令官を経て、統合幕僚会議事務局長。佐世地方総監、第36代自衛隊司令官を歴任。2009年からハーバード大学・アジアセンターシニアフェロー。



米海軍分析センター上級フェロー マイケル・マクデビット氏

退役海軍少将。空母戦闘群司令官を含め4度にわたり海上部隊の指揮を執る。米国防総省東アジア政策部長、CINCPAC 戦略作戦部長、米国防総省東アジア委員会委員長。



モデレーター NPO法人 世界開発協力機構総裁 半田 晴久氏

はんだ・はるひさ 日本国際フォーラム理事、CSISパシフィックフォーラム理事、カンボジア王国政府顧問、在福岡カンボジア王国名誉領事、東南アジアテレビ局解説委員長。

出席者

マクデビット オバマ大統領は昨年11月アジアに注目を集めた軍力の再バランス計画を発表。その軍事予算の増加率を減らす計画は、アジア以外の地域に適用されるという。しかし、今後の議会の動向や大統領選挙の展開により変化の可能性はある。

半田 日本の年間防衛予算は500億が約4兆円。一方、米国は今後10年間で5000億(約4兆円)の軍事予算を削減し、さらに議会からも同額の軍事予算削減を求められている。

中国の対外貿易による経済発展に、海軍の増強は不可欠。海軍力の増強は自国防衛の権利行使するもの。中国海軍は日本や米国に比べて遅れており、急速な成長ゆえに脅威と映る。われわれ3カ国の任務は海軍大国として協力関係をつくること、競争ではない。大切な能力は、それをいかに、どのよう意図で使うか。

相互協力の習慣をつくらう マクデビット氏 海洋のバランス保って 香田氏 日米中の協力こそ 相互の利益 半田 中国は米国を、米国は中国をどう見ているのか。 中米自3カ国が相互に戦うなら、そこに戦勝国はなく、みな敗者となる。われわれの安全保障関係は、協力関係であってこそ互いに利益がある。中国は防衛能力を強化してきたが、西太平洋から米国を追い払う意図はない、積極的建設的な活動を望んでいる。日本は強力になった中国を受け入れ、中国は増強した軍力にふさわしい正しい行動で示す。この両方向の受け入れが重要だ。長期的には、われわれの行動で分かっているだけだ。

協力的なパートナーシップ構築 楊氏 関係国同士の共同訓練で信頼 ゴールドマン氏 日・米・中でもっと対話を 半田氏

半田 中国の今後の海洋活動に非常に関心がある。中国は20年前に比べ、おそらく数十倍も海軍に投資しており、10、20年後には相当大きな力を持つだろう。そうなるまで、バランスは完全に崩れる。

半田 中国がアジアで影響力を行使するのには、日中同士の対話が十分にならなければならない。友好的な対話でなければ、敵対意識も弱まらず、その状況が、太平洋地域の安全保障維持に重要だ。

半田 中国の対外貿易による経済発展に、海軍の増強は不可欠。海軍力の増強は自国防衛の権利行使するもの。中国海軍は日本や米国に比べて遅れており、急速な成長ゆえに脅威と映る。われわれ3カ国の任務は海軍大国として協力関係をつくること、競争ではない。大切な能力は、それをいかに、どのよう意図で使うか。

半田 中国の規範とわれわれが長年築き上げてきた国際法と条約との間に、時に大きなギャップがあり、ダブルスタンダードになっている。特に国際法の適用について、中国がどう解釈するのがよく分からない。軍事予算だけでなく、ソフトと運用、意図など不明な点をどう話していくかと思う。

半田 太平洋地域の安全保障は、実は身近なことに直結している。今回、海軍の専門家の話を通して、海洋安全保障に対する理解が深まったと思う。

半田 中国の海洋での行動を、周辺諸国は高圧的に感じている。ある意味、意図は一晩で変わる。日本が一番心配なのは、中国の能力増強×意図の将来像が分からないこと。今後、話し合いで信頼感をつくっていくことが重要だ。

半田 中国は、南シナ海沿岸の友好国の海軍力も含めて実行能力のバランスを取る外交戦略「CARAT(Cooperation Afloat Readiness and Training)」を展開している。

半田 中国の海洋での行動を、周辺諸国は高圧的に感じている。ある意味、意図は一晩で変わる。日本が一番心配なのは、中国の能力増強×意図の将来像が分からないこと。今後、話し合いで信頼感をつくっていくことが重要だ。

半田 中国の規範とわれわれが長年築き上げてきた国際法と条約との間に、時に大きなギャップがあり、ダブルスタンダードになっている。特に国際法の適用について、中国がどう解釈するのがよく分からない。軍事予算だけでなく、ソフトと運用、意図など不明な点をどう話していくかと思う。

半田 中国の海洋での行動を、周辺諸国は高圧的に感じている。ある意味、意図は一晩で変わる。日本が一番心配なのは、中国の能力増強×意図の将来像が分からないこと。今後、話し合いで信頼感をつくっていくことが重要だ。

半田 中国の海洋での行動を、周辺諸国は高圧的に感じている。ある意味、意図は一晩で変わる。日本が一番心配なのは、中国の能力増強×意図の将来像が分からないこと。今後、話し合いで信頼感をつくっていくことが重要だ。

半田 中国の海洋での行動を、周辺諸国は高圧的に感じている。ある意味、意図は一晩で変わる。日本が一番心配なのは、中国の能力増強×意図の将来像が分からないこと。今後、話し合いで信頼感をつくっていくことが重要だ。

半田 中国の海洋での行動を、周辺諸国は高圧的に感じている。ある意味、意図は一晩で変わる。日本が一番心配なのは、中国の能力増強×意図の将来像が分からないこと。今後、話し合いで信頼感をつくっていくことが重要だ。

半田 中国の海洋での行動を、周辺諸国は高圧的に感じている。ある意味、意図は一晩で変わる。日本が一番心配なのは、中国の能力増強×意図の将来像が分からないこと。今後、話し合いで信頼感をつくっていくことが重要だ。

半田 中国の海洋での行動を、周辺諸国は高圧的に感じている。ある意味、意図は一晩で変わる。日本が一番心配なのは、中国の能力増強×意図の将来像が分からないこと。今後、話し合いで信頼感をつくっていくことが重要だ。

半田 中国の海洋での行動を、周辺諸国は高圧的に感じている。ある意味、意図は一晩で変わる。日本が一番心配なのは、中国の能力増強×意図の将来像が分からないこと。今後、話し合いで信頼感をつくっていくことが重要だ。

半田 中国の海洋での行動を、周辺諸国は高圧的に感じている。ある意味、意図は一晩で変わる。日本が一番心配なのは、中国の能力増強×意図の将来像が分からないこと。今後、話し合いで信頼感をつくっていくことが重要だ。

半田 中国の海洋での行動を、周辺諸国は高圧的に感じている。ある意味、意図は一晩で変わる。日本が一番心配なのは、中国の能力増強×意図の将来像が分からないこと。今後、話し合いで信頼感をつくっていくことが重要だ。

半田 中国の海洋での行動を、周辺諸国は高圧的に感じている。ある意味、意図は一晩で変わる。日本が一番心配なのは、中国の能力増強×意図の将来像が分からないこと。今後、話し合いで信頼感をつくっていくことが重要だ。

半田 中国の海洋での行動を、周辺諸国は高圧的に感じている。ある意味、意図は一晩で変わる。日本が一番心配なのは、中国の能力増強×意図の将来像が分からないこと。今後、話し合いで信頼感をつくっていくことが重要だ。

半田 中国の海洋での行動を、周辺諸国は高圧的に感じている。ある意味、意図は一晩で変わる。日本が一番心配なのは、中国の能力増強×意図の将来像が分からないこと。今後、話し合いで信頼感をつくっていくことが重要だ。